

# 小川国夫と蓮華寺池

— 「逸民」の舞台から —

## 平成25年 4月6日(土) ~ 5月26日(日)

藤まつり期間中 (4/20~5/6) は無料・無休

普請(築造)400年を迎えた蓮華寺池。江戸時代の絵師で蘭学者の司馬江漢が池のほとりて酒をたしなみ、旅の疲れを癒したと日記に綴っています。

この池を散歩コースのひとつにしていた小川国夫は、昭和61年、蓮華寺池を舞台にした作品「逸民」で第13回川端康成文学賞を受賞しました。また、随筆でも池や散歩のことにふれ「切っても切れない池との縁」を語っています。今回の展示では、「逸民」を中心として、小川国夫と蓮華寺池にまつわる作品を紹介します。

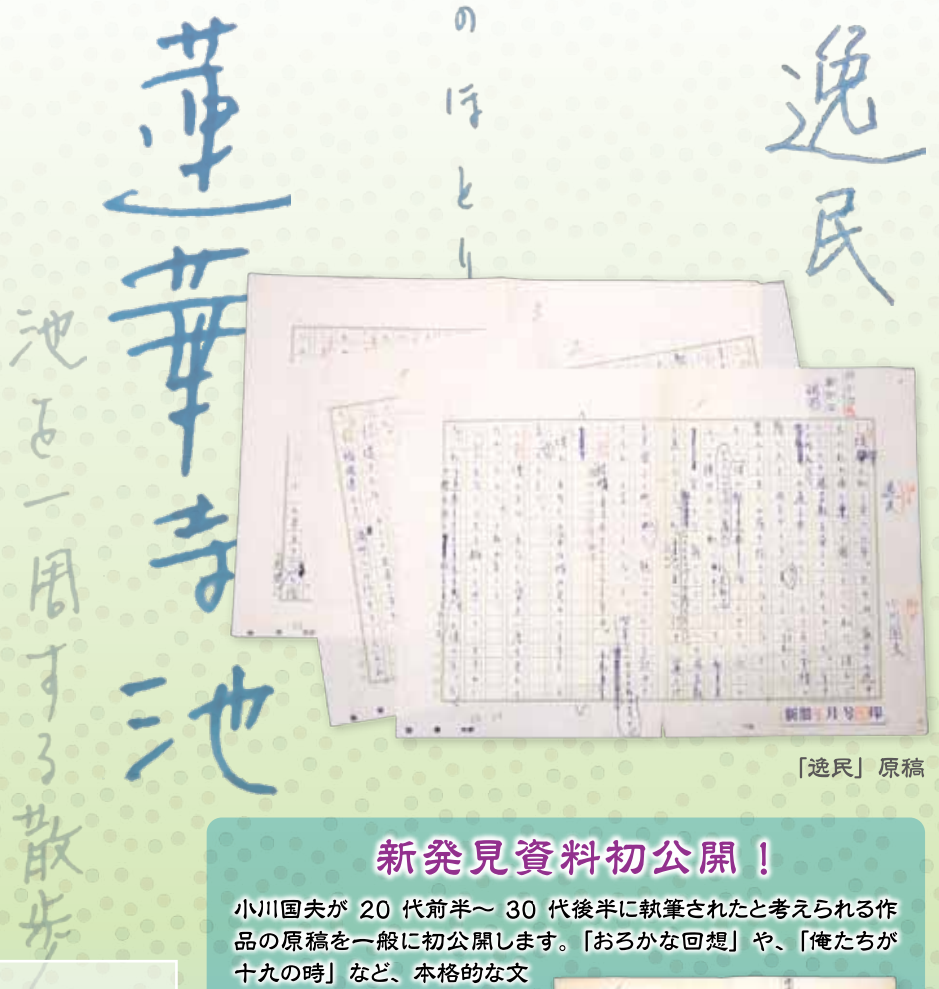


第13回川端康成文学賞受賞の賞状と記念品の時計



蓮華寺池とその周辺が登場する作品

- 花々の匂い ●人隠し ●心臓 ●歩き魔
- 悲しみの港 ●蓮華寺池への愛 ●逸民 ●欠落の秋
- 影の部分 ●手強い少年 ●青銅時代 ●深夜の散歩
- ひよこと蟻 ●窓簾が遺したこと ●弱い神「ばば垂れ簾」など



「逸民」原稿

### ◆文学散歩◆

蓮華寺池周辺は、小川国夫・藤枝静男など文学作品の舞台となりました。ゆかりの地を歩きながら、作品世界に思いをはせてみませんか。

とき／5月19日(日) 13:00~15:00(予定)

集合／郷土博物館・文学館前広場

参加料／無料 定員／30名

申込／電話・FAX・Eメールで郷土博物館・文学館へ

### 新発見資料初公開!

小川国夫が20代前半~30代後半に執筆されたと考えられる作品の原稿を一般に初公開します。「おろかな回想」や、「俺たちが十九の時」など、本格的な文壇デビュー前の初期作品の原稿を間近にご覧ください。

※「新潮」平成24年9月号に発表され、その後『俺たちが十九の時 小川国夫初期作品集』(新潮社)に収録された作品です。

「俺たちが十九の時」原稿



## 藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500番地(蓮華寺池公園内)

TEL: 054-645-1100 FAX: 054-644-8514

[http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kyodomuse\\_index.html](http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kyodomuse_index.html)

- 開館時間: 午前9時~午後5時 ■休館日: 月曜日(祝日は開館、翌日休館)
- 入館料: 大人200円、中学生以下無料(博物館・文学館共通)
- 交通案内: JRの場合...JR藤枝駅から「新静岡行」バス10分、「蓮華寺池公園入口」下車、徒歩5分/お車の場合...国道1号緑町交差点経由、または藤枝バイパス(東から)数田東IC、(西から)谷稲葉IC経由、新東名藤枝・岡部ICから10分
- ※藤まつり期間中は駐車場が有料となります